

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	宮崎県国富町都市建設課
②事業名	国富町プール・武道場等整備事業（仮称）（Park-PFI 事業）
③本事業の現在の検討ステージ ※該当する番号に○（いずれか一つ）	1.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他（ ）
④サウンディングの目的	○ 幼児プールの新設と小中学校プールの老朽化対応にあたり、小中学校の水泳授業が出来るような 25mプールと幼児も使用できるような低学年用プールを同時に建設し、水泳授業時期の柔軟な対応と、通年利用を見据えて屋内温水プールを検討している。 ○ 武道場新設も検討しているため、屋内温水プールと武道場の施設を一体的に整備することで、利便性の向上を図る。 ○ 都市公園の整備もあり、総事業費の増加が予想されることから、効果的に施設を整備・管理していくためには、Park-PFI 手法による民間事業者との連携が必要と考えており、サウンディング結果を踏まえて、事業化への方針を決定する。
⑤民間事業者に対する質問事項	○ 事業者としての参入意欲（可能性）について 本事業を計画する上で、民間事業者の参入意欲（可能性）をご教示いただきたい。 ○ 魅力ある施設について 現在本町には、児童遊泳用（水深約 0.6～0.8m）の河川プールは有しているものの教育用（0.8～1.4m程度）の水泳場（プール）としての機能が無く、町民の多くは、他市町村のスイミングクラブやレジャー用の水泳場を利用している。そこで、町内に幼児から高齢者までが安心して利用できる屋内温水プールを整備したいと考えるが、魅力ある施設にするためのアイデアなどあればご教示いただきたい。 ○ Park-PFI 手法による効率化について Park-PFI 手法の場合は、公募対象公園施設と一体的に整備することにより、特定公園施設の効率的な整備が必要になるが、屋内温水プール等の施設を想定している本計画において、一般的に、効率的な整備が見込めるか、ご教示いただきたい。 ○ 本事業・運営等について 事業化する場合に参考とするため、本事業・運営等に対して、

	民間事業者としての提案などあればご教示いただきたい。
⑥対話を希望する業種 ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません	1.設計 2.建設 3.不動産 4.金融機関 5.維持管理 6.コンサルタント 7.運営（ ） 8.その他（ ）
⑦対話を希望する事業者 の事業展開エリア ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する規模の事業者を確約するものではありません	1.全国展開している事業者 2.当該エリア外の事業者 3.地元事業者 4.その他（ ）
2. 事業概要	
（１）基本情報	
①事業の分野 ※該当する番号に○（複数可）	1.公有財産利活用 2.都市公園 3.観光施設 4.教育・文化関連施設 5.賃貸住宅・宿舍等 6.廃棄物処理施設・斎場 7.インフラ施設（ ） 8.その他（ ）
②事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1.新設 2.建替え 3.改修 4.維持管理・運営 5.その他（ ）
③想定する事業類型 ※該当する番号に○（複数可）	1.サービス購入型 2.収益型 3.混合型 4.その他（ ）
④想定する事業の手法 ※該当する番号に○（複数可） ※PFI事業方式（BTO、RO等）が具体的に決まっている場合、「1.PFI事業」の（ ）内に記載ください。	1.PFI事業（ ）方式 2.DBO方式 3.包括的民間委託 4.指定管理者制度 5.コンセッション 6.Park-PFI 7.土地の賃貸借 8.建物の賃貸借 9.その他（ ）
⑤事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	ア 事業手法（案） Park-PFI制度を活用し、水泳場、武道場及び周辺施設等の整備を行うことで、公園利用者の利便性を高めるとともに、地域の賑わい拠点等となる公園を目指す。 イ 整備する機能（案） ① 公募対象公園施設（必須） 水泳場、武道場以外の健康運動施設、屋内遊戯施設等 ※ 国土交通省「都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」の公募対象公園施設一覧表参照 ② 特定公園施設（必須） ア 屋内施設 I 水泳場【温水プール（25m、幼児用等）、付属施設（ロビー、男女更衣室等）】 II 武道場【武道場（約220㎡）、武道場用倉庫】

	Ⅲ トイレ【男・女・多目的】 ① 事業区域内の園路、駐車場等 ③ 利便増進施設（任意） 看板又は広告塔、自転車駐車場等
⑥現状及び課題	① 現状 ア 町運動公園内の幼児プールが、撤去予定である。 イ 小中学校のプールが、築 50 年を経過している。 ウ 町武道館が、撤去予定である。 ② 課題（目標） ア 幼児のみの使用ではなく、小中学校の授業でも使えるようにするため、25mプールも必要になる。 イ 武道場を同施設内に設置し、サブアリーナの機能も持たせたい。 ウ 上記事業を実施するためには、建設費用が高額になる。 エ 小中学校の水泳授業について、学校・プール間の送り迎えと水泳の指導を委託したい。
⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください	① スイミング、空手や剣道などを行う幼児から大人（特に、プールについては、介護予防として高齢者）までをターゲットとした「健康増進」の施設を目指している。 ② 町所有の想定だが、公募対象公園施設と特定公園施設の両施設が一体建築の場合は、「建物の区分所有等に関する法律（昭和 37 年法律第 69 号）」の適用を想定している。
⑧事業スケジュール（予定）	① 令和 9 年度当初に公募・決定 ② 令和 9 年度中旬 基本設計・実施設計・工事 ③ 令和 10 年度末までに供用開始
（2）対象地	
① 所在地（交通情報含む）	未定
② 敷地面積	駐車場等込み 約 16,000 m ² （延床面積 約 3,800 m ² ）
③土地利用上の制約	未定
④所有者	未定
⑤周辺施設等	未定
⑥対象地周辺の環境	人口（R3 現住人口調査） 18,243 人 年代別人口構成（R3 現住人口調査） 年少～14 歳 2,100 人 生産年齢～64 歳 9,202 人 老年人口 65 歳以上 6,941 人 昼夜間人口構成比率（R2 国勢調査） 95.2%
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、	・ 町内には、スイミングクラブがないが、当該施設の管理運営業者に、小中学校の水泳授業における「送迎」・「指導」の委託

留意すべきこと等)	を想定している。 今後、国土交通省所管事業である「社会資本整備総合交付金事業」の「都市公園・緑地等事業」、「都市公園等事業」、「官民連携型賑わい拠点創出事業」を活用し、都市公園の整備を行う想定で、検討業務を進めている。
-----------	--